

# 今また「英国」に注目するのか？

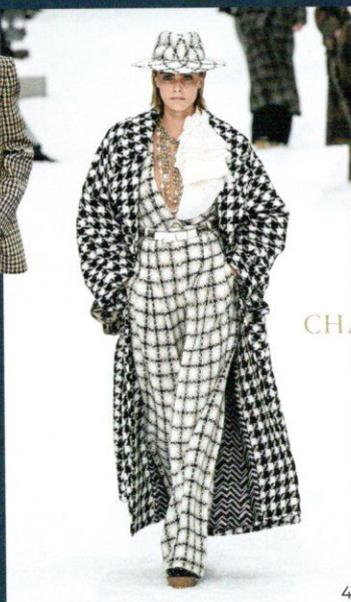
タンチェック、トレンチコート、ツイード、テーラードスーツetc.  
 ンドが巡り巡っても、どうしても戻りたくなる英国調。今またなぜ？  
 こなしだけでなく、存在そのものが最旬かつ大きなインパクトを持つ  
 国ロイヤルファミリーとトレンドの関係を中野香織さんがひもときます。

otos : SHIN KIMURA (HERITIER) (still life) ,IMAX TREE (runway) ,GETTY IMAGES (royal family)  
 iling : TAKAKO AOKI [whitebox] Realization : MAMI SEKIYA

シャネルは英国発祥のツ  
 ードを初めて女性服に採  
 したその人。今季のラン  
 エイでもモノトーンで提  
 しています。5 メンズの  
 着風ツイードジャケット  
 目を引きます。セリーヌ  
 のクールな着こなしで。



CELINE



CHANEL



スタンドカラーのシャツ  
 貴族の薫り。ブルオーバ  
 ¥285,000 (Chloé / ク  
 エ カスタマーリレーショ  
 ズ) 7 ダイアナ妃はフル  
 やボウタイのブラウス  
 トレードマークでした。  
 チェックジャケットの下  
 フリル襟のブラウス、ボ  
 ムスにモダンなスカート  
 合わせたルイ・ヴィトン。



LOUIS VUITTON



CELINE



1 セリーヌの幾何学模様  
 のワンピースとロングブ  
 ツ。2 リバティプリント  
 に代表される小花柄も英  
 国の十八番。キャサリン  
 妃も頻繁に着用。3 若  
 き日のプリントワンピース  
 姿のエリザベス女王。ボ  
 ウタイやトッパハンドル  
 バッグに英国王室らしさ  
 が漂います。

あ、の、愛、ら、し、い、写、真、を、見、た、ら、世、界、中、が、

稿、し、て、絶、大、な、反、響、を、得、て、い、ま、し、た。

す、例、え、ば、キ、ャ、サ、リ、ン、妃、は、最、近、自、

活、を、イ、ン、ス、タ、で、定、期、発、信、す、る、な、ど、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

## 「Fab 4」がけん引する 新しい王室と英国スタイル

2019、20の秋冬は、トラッ

ドがトレンドのキーワードにあげら

れますが、英国スタイルが注目され

ている理由として、英国王室の

「Fab 4 (ファブフォー)」の存在

があります。ファッション界をはじ

め、世界中に影響を及ぼしています。

「Fab 4」とは「Fabulous 4 (素

晴らしい4人組)」の略で、元々ビ

ートルズを指す言葉でした。が、今

や「Fab 4」といえば、キャサリ

ン妃、ウィリアム王子、メーガン妃、

ヘンリー王子の4人のことなのです。

21世紀の王室の在り方を体現して

いる4人組に、世界中が共感してい

ます。例えば、第一子を産んだばか

りのメーガン妃の母上はアフリカ系

アメリカ人。史上初めて、英国王室

にアフリカ系の血が入ったわけですが、

それが、それにより、「開かれた王室」と

いうイメージが強調されました。英

国民はとても好意的に見守ってい

ます。メーガン妃がソバカスや褐色

の肌、妊娠中のおなかなどを隠さず

自然体であることも好印象を与えて

います。さらに「Fab 4」は私生

活をインスタで定期発信するなど、

オープンであることも人気の理由で

す。例えばキャサリン妃は、最近自

ら撮影した、シャロット王女が弟

のルイ王子にキスしている写真を投

稿して、絶大な反響を得ていました。

あ、の、愛、ら、し、い、写、真、を、見、た、ら、世、界、中、が、

稿、し、て、絶、大、な、反、響、を、得、て、い、ま、し、た。

す、例、え、ば、キ、ャ、サ、リ、ン、妃、は、最、近、自、

活、を、イ、ン、ス、タ、で、定、期、発、信、す、る、な、ど、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

イ、ム、ス、に、キ、ス、し、て、い、る、写、真、を、投、

# モードがなぜ、



ロイヤルファミリーは幼少時代から英国トラッド服でセンス磨き。自ら撮影した写真もSNSで発信されます。

ロイヤルファミリーのラストバッグはクラッチ。リボンの留め具とピンクのサテンがロマンティックです。バッグ ¥375,000 (Jimmy Choo / ジミー チュウ)

BURBERRY



12 チェックのトレンチがお似合いのメーガン妃。袖を折り返して着るのがポイントです。13 リカルド・ティッシュがクリエイトするバーバリーはディテールで勝負。生地の上にメタルフープをあしらったトレンチは、インパクト大。14 パワーショルダーを備えたトレンチがクールです。



GIVENCHY

14

## Profile

服飾史家、作家

中野香織 | Kaori Nakano

東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。英国ケンブリッジ大学客員研究員、明治大学特任教授など歴任後、総合研究所「株式会社Kaori Nakano」代表取締役役に。執筆、講演活動のほか企業数社の顧問をつとめる。著書に『紳士の名品50』、『モードとエロスと資本』、『ダンディズムの系譜 男が憧れた男たち』など多数。6月に新刊『ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史』を発売。  
<http://www.kaori-nakano.com/>



10 ジョン・ロブの最高級のレザーを用いた靴も少しずつモダンに変化中。旅先で活躍しそうな一点を、ぜひ。靴¥260,000 (John Lobb / ジョン ロブ ジャパン)

DIOR



10



英国スタイルがモードに愛される理由とは？

ファッションの流行でいうと、最近続いていた「ストリート」旋風が食傷気味となり、正反対の方向に英国トラッドに振り子が戻されたというところも考えられます。英国トラッドは、トレンチやマードケイティングなどは一線を画す不動のもの。どんな流行も超越してしまう圧倒的な永遠性があります。だから何かに飽きたとき、次の新しい傾向が不在のとき、人々は英国トラッドが恋しくなるのではないのでしょうか？

そんなファッション心理と「Fab 4」人気の相乗効果により、今また「英国スタイル」が注目されつつあるのだろうと考えられます。93歳にしてパワフルなエリザベス女王や、永遠のダイアナ妃の装いの影響も感じることができそうです。

実際にランウェイを席巻したのは、モダンで新鮮な英国フレージャーばかりです。例えばセリーヌはメンズの古着のようなツイードジャケットを、黒のインナーやエッジイナサングラスを合わせて提案。ルイ・ヴィトンやディオールは、チェックのジャケットにボトムスでモダンさを加え、ジバンシイのトレンチは、80年代風パワーショルダーが斬新です。今季の「新・英国スタイル」。そこにはロイヤルファミリーと絡んだ新しい魅力が存在しているようです(談)。



## PENHALIGON'S

ペンハリガンは意外にも男性2人のお好みブランド。ボトルや装飾の美しさも秀逸です。エリザベサン ローズ オードパルファム 100ml ¥22,000 (Penhaligon's / ブルベール・ジャパン)



## SMYTHSON

3人全てが愛するスマイソン。女王はステーションナリー、殿下はレザーグッズ、皇太子はステーションナリー&オフィスグッズと、偏愛カテゴリーが違うのが興味深いところ。レターセット¥6,000 ボールペン ¥55,000 (2点 共 Smythson / ヴァルカナイズ・ロンドン)



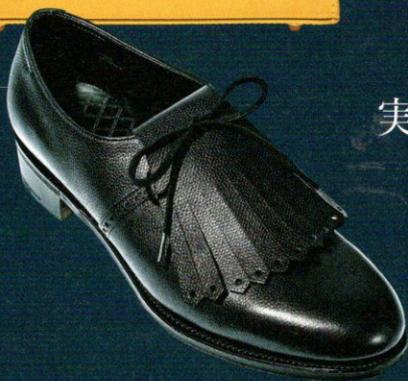
## LAUNER LONDON

1960年代にエリザベス女王の認定を受け、その着こなしに欠かせないバッグといえばロウナー ロンドン。ずらりと揃うカラフルな色も魅力です。バッグ ¥274,000 (Launer London / エイチアイティ)



## JOHN LOBB

1858年に創業、'63年には皇太子の靴職人に認定されたブランドは現在も皇太子と殿下のお気に入り。メンズライクなレディス靴もぜひ注目したいものです。靴¥195,000 (John Lobb / ジョン ロブ ジャパン)



## ASPREY

皇太子お墨付きジュエラーはキャサリン妃も愛用中。ペンダント (左) [RG×ダイヤモンド×アメシスト] ¥606,500 (右) [YG×ダイヤモンド] ¥843,000 (2点 共 Asprey / アスプレイ サンモトヤマ 銀座本店)



## BURBERRY

1856年創業、トレンチコートが日本でも人気のブランドにも、女王と皇太子が太鼓判を押しています。独自の「バーバリーチェック」は永遠のアイコン。バッグ¥170,000 [参考価格] (Burberry / バーバリー・ジャパン)



## JOHNSTONS

スコットランド最古の素材メーカーとして1797年に創業。高級メゾンへの生地提供もしているジョンストンは、皇太子のお気に入り。ストール各¥19,000 (Johnstons / ヴァルカナイズ・ロンドン)

# 実は女王・殿下・皇太子の偏愛ブランドだった 「王室御用達」の真実

やっぱり気になる「英国王室御用達」ブランド。そこには、最旬とは異なる魅力と奥深さが潜んでいるかもしれません。

Photos : SHIN KIMURA [HERITIÉR] Styling : TAKAKO AOKI [whitebox] Realization : MAMI SEKIYA

ブームの秘密を解くカギ。真の「英国らしさ」がここに！

英国フレイバーを取り入れ、ロイヤルファミリーの感性を意識しながら、各メゾンが提案するトレンドスタイル。それらはもちろん注目株ですが、ならば伝統的な「英国王室御用達」ブランドも注目には値するのでは？

「御用達ブランドは、エリザベス女王、フィリップ殿下、チャールズ皇太子の個人的なお好み」で選ばれます

そう話すのはP.120～121でお話を伺った中野香織さん。個人のお好みとは意外と知られていない事実です。

「はい、女王、殿下、皇太子の愛するブランドが候補に選ばれ、サービスや品質チェックの後、認定に至ります。現在、選ぶ権利があるのは先述の3人様だけです」

王室御用達には日用品やお店のサービス等も含まれ、現在、その数800以上、審査は5年ごと。認定を受けると「英国王室御用達」の紋章を掲げることができ、そしてそれぞれ異なる紋章をお持ちになるので、どなたの「偏愛」ブランドかがわかる仕組みです。

1840年に協会が発足したこのシステム、ロイヤルファミリーの個人的な好みを公にすること自体がとても大胆な試み。選ばれたブランドの内容はもちろん、選定基準にも英国らしさ、ひいてはこの秋の英国ブームの秘密を解くカギが、隠されているかもしれません。